



【令和4年度衛生科幹部等集合訓練】 (第66回北部防衛衛生学会)

令和5年1月25日

令和5年1月25日（水）自衛隊札幌病院（病院長：鈴木陸将）は、北海道青少年会館コンパスにおいて、令和4年度衛生科幹部等集合訓練（前段、第66回北部防衛衛生学会）を担当・実施した。

担任官（鈴木陸将）は、訓練のテーマを『救命への執念～真に戦える部隊の創造のために～』とし、訓練開始に当たり、『北部方面隊の役割であるフォースユーザー、フォースプロバイダー、フォースチェンジャーとして、恵まれた訓練基盤をもつ北部方面内の衛生科部隊等が事態対処時に備え、どのような教育訓練を行い、能力・技術を向上していくべきかをそれぞれのレベルや枠組みにおいて考える良い機会としてもらいたい。』と挨拶した。

総監講話において北部方面総監（沖邑陸将）は、平成3年6月3日に長崎県の島原半島で発生した雲仙普賢岳火山噴火に伴う行方不明者の捜索活動に係わる災害派遣における現地活動の紹介等、地域等との連携及び留意事項、自治体との協定締結などの重要性等について総監ご自身の体験談を交えて講話をされた。

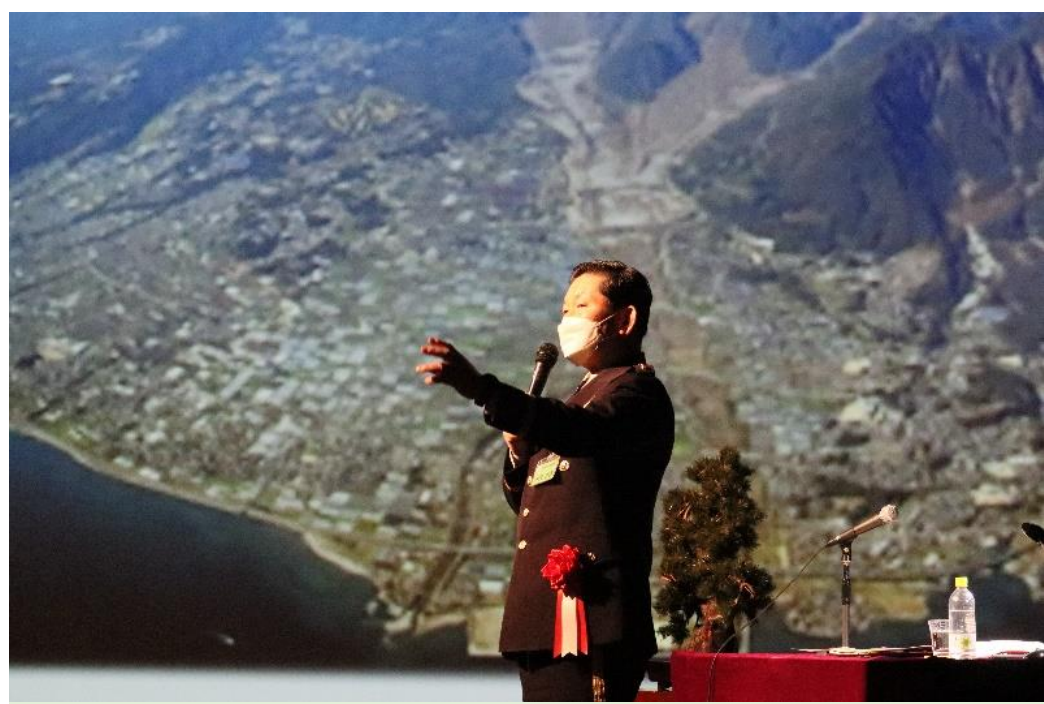
特別講演において講師としてお招きした札幌医科大学名誉教授 佐藤昇志氏は、『社会と免疫、そして人々の平穏』と題し、病理学的見地からの新型コロナウイルスの危険性、生体の免疫応答、特に癌免疫や癌ワクチン領域に関する最先端の知見と免疫治療の新たな取り組みなどについて講演いただき、今後の病院運営及び社会活動をする上で参考となった。

午後の一般演題Ⅰにおいて座長：渡邊3佐（第5後方支援隊衛生隊長）、演者は第2師団2件、第5旅団2件、方面衛生隊1件と、一般演題Ⅱでは座長：光川3佐（第7後方支援連隊衛生隊長）演者：第7師団2件、第11旅団1件、水陸機動団1件の合計9名が日頃の衛生能力向上に対する取り組みについて発表した。

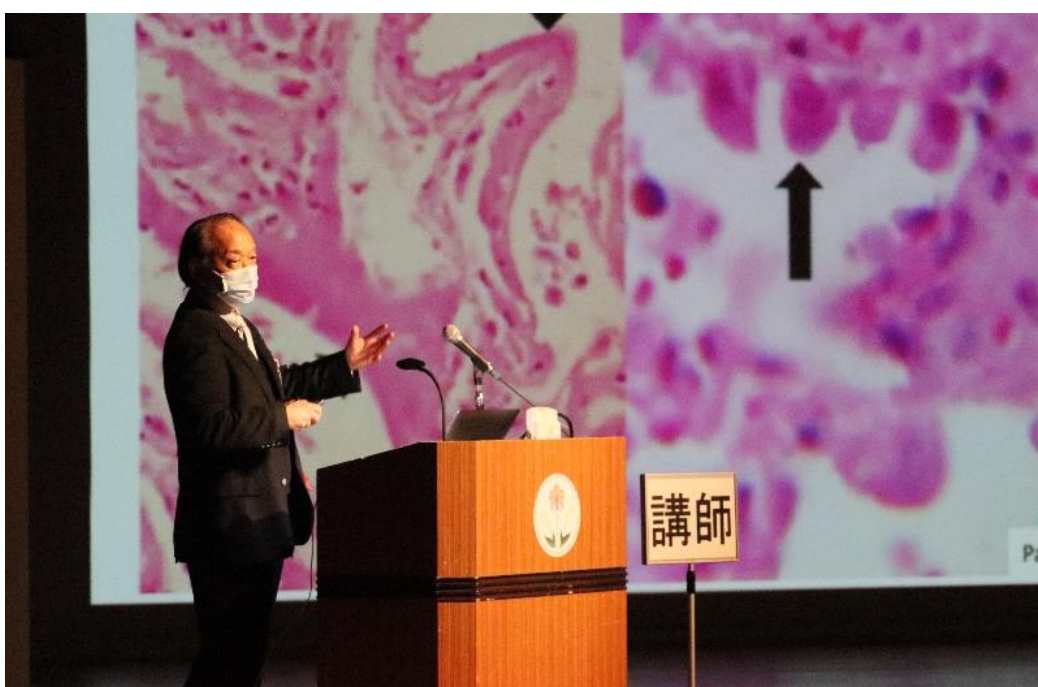
最後のパネルディスカッションでは『事態対処時における衛生支援』をテーマとし、座長：長川1佐（診療技術部長兼救急科部長）、演者：中家1佐（陸上幕僚監部衛生部企画室長）、上明戸2佐（北部方面総監部医務官付 医務保健班長）、小池1佐（自衛隊那覇病院長）、西川2佐（中央病院第3外科部長兼研究課長）、長野3佐（第2後方支援連隊衛生隊長）、日下3佐（自衛隊札幌病院企画室 計画幹部）のパネリスト6名による第一線から後方に至るまでの部隊等の取り組みと、今後の衛生支援の実効性向上の為の治療・後送上の課題についての発表と議論が行われた。感染対策を万全にして訓練を実施し、その目的である『識能の向上を図り防衛衛生の強化、充実発展に寄与する。』を達成した。



開会挨拶（担任官 鈴木陸将）



総監講話（沖邑陸将）



特別講演 札幌医科大学名誉教授 佐藤昇志 先生



一般演題



パネルディスカッション



パネルディスカッション質疑応答